

平成 29 年 2 月 1 日号

消費生活 Q&A

Q 「低温やけど」の事故をよく耳にします。どうしたら防げますか？

A 「低温やけど」は温かく感じる程度のもので皮膚の同じ部分が長時間接していると発生するやけどです。カイロやこたつ、湯たんぽなどの使用による事故が報告されています。特に高齢者は皮膚が薄く、運動機能や感覚機能が低下している場合があります。重症化しやすいようです。また、幼児や体が不自由な人が使用する場合も十分な配慮が必要です。低温やけどを防ぐ一番のポイントは「長時間同じ部分を温めないこと」です。布などにくるんだ場合でも完全に防ぐことはできませんのでご注意ください。また、それぞれの製品の取扱上の注意を守って使用することも大切です。必ず注意事項を確認しましょう。低温やけどは普通のやけどに比べ軽く見られがちですが皮膚の深いところまで達し、重症になる例も多いようです。異常を感じたら早めに医療機関を受診しましょう。

問合せ・・・消費生活センター ☎（４２２）２１５５